

農大 NOW

令和7年度版

令和8年3月13日発行

大分県立農業大学校

〒879-7111 大分県豊後大野市三重町赤嶺2328-1

TEL:0974-22-7581・7582 FAX:0974-22-6387

E-mail: a15230@pref.oita.lg.jp

ホームページ: <http://www.pref.oita.jp/site/140/>



Instagram



YouTube



学校HP



農大祭にて（令和7年11月8日開催）

育む
～実り豊かな「農」と「人」～

農にはばたく ~熱い思いと希望を胸に~

農大の経験は宝物

たていし ひかる
立石 光

(総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)

私の実家は非農家ですが、周囲では農業が盛んで、幼い頃から関心を持っていました。近所の方々と触れ合う中で、将来は農業に関わる仕事がしたいと思うようになり、基礎から学ぶため農業大学校へ進学しました。

入学後は毎日が新鮮な体験でした。普通科高校出身で農業経験のなかった私は、鍬の使い方も分からない状態でしたが、先生方や仲間に教わりながら積極的に実習に取り組みました。また、大型特殊免許やけん引免許など多くの資格取得にも挑戦し、仲間と日が暮れるまで練習した日々は今でも鮮明に覚えています。プロジェクト研究では、事例の少ない農法による水稻栽培を行い、自然を相手にする難しさや研究の奥深さを実感しました。

卒業後は県職員として、大分の農業を支えています。農業大学校で培った経験を糧に、生産者に寄り添いながら地域の発展に貢献し、信頼される職員を目指します。



僕が大分に来た理由

ひらい そうし
平井 聡至

(総合農産科 水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス)



私の実家は農業との関わりはありません。さらに私の出身は大阪府です。

そんな私がなぜ農業大学校で農業を学んでいるのか、それは小学校の頃に収穫体験をした時に、楽しいと思ったからです。そして、農業という仕事は後継者が不足しているという実情を知り、「自分が農業をすることで力になりたい」と思い、農業の道に踏み出しました。

そこで、全寮制の農業高校がある大分県の久住高原農業高校に進学し、本格的に農業を学びました。しかし、学べば学ぶほど、多くの栽培の種類、方法、機械があることを知り、本当に自分にできるのかと不安になっていき、高校二年生の学期末、進路について聞かれて、どうしようか何も決められませんでした。その時、先生から「農業について高校でも教えられる。けれど、機械を使ったり、本格的な経営を学びたいなら、農大に行ってこい。」と言われ、もっと農業について学んで、不安なく農業を始めたいと思い、農業大学校へと進学することを決めました。

農大入学後は、トラクターの乗り方、経営について必要な考え方などのより現場で必要になってくることを多く教えてもらいました。そして、プロジェクト研究では自分で農作物を管理することの難しさを実感し、まだまだ自分はできてない、だから、もっとできるようになろう、そんな風に考えていけるようになりました。

卒業後は農業法人に就農し、実際の現場で農業を学んでいきます。その農業法人で作った米・麦・大豆を多くの人に届け、おいしいと思う食の楽しみを創っていけるようになります。

野菜とわたし

えとう だい き
衛藤 大貴

(総合農産科 水田・野菜コース 野菜クラス)

私は好きなことを追求したい性格で、今まで農業にあまり接してこなかったのですが、中学生の頃、祖父の畑仕事を手伝ったころから農業に憧れを持つようになりました。

しかし、周りの大人達は農業は厳しいからと普通の職種を選ぶことを勧められ、高校は普通科を選びました。しかし農業に就きたいという気持ちを変えることが出来ず農業大学校に入学しました。

農業大学校に入学してからは、いろいろなことに挑戦しました。

高校で農業について学んでいる学生が多いなか、私が一步遅れてのスタートを始め、追い越すつもりで勉学に励みました。

意見発表やプロジェクト課題を持ち研究しました。プロジェクトではピーマンを低濃度エタノールに浸し高温耐性効果を獲得させ暑い夏の時期にもピーマンが耐えられるよう研究しました。他にも友人との接し方まで大切なことを学びました。そのおかげで、高校からの友達のいる北海道へ就職が決まりました。

北海道では、酪農をします。農業大学校で学んでいる野菜クラスとは違う分野に進みますが、学んだことを活かしながら遠い場所で頑張っていきたいと思います。



農業大学校での学びと目標に向かって

くわの たいき
桑野 太希 (総合農産科 果樹コース)

私は高校時代に果樹農家に職場体験に行く機会があり、農業に興味を持ちました。高校卒業後は農業法人への就職を考えていましたが、先生の勧めもあって農業大学校への進学を決めました。

農業大学校に入学してからは、果樹栽培の知識や農業の専門用語が分からなくて戸惑うことばかりでしたが、授業や実習を通して少しずつ分かるようになりました。

果樹にはたくさんの品目がありますが、中でも興味があったブドウに関するプロジェクトに取り組むことにしました。

ブドウ栽培は、芽かき、誘引、花穂整形、摘心、摘粒、袋かけなどブドウの生育に合わせた栽培管理があり、年間を通してブドウ栽培を学ぶことができました。

また、在学中には、大型特殊免許やけん引免許などの実践的な資格を習得することができました。

私は本校を卒業後は、各方面からの情報収集を続け栽培に関する考え方や技術を磨き、一人前のブドウ農業経営者になれるように頑張ります。

果樹コースの先生をはじめ、農業大学校の先生方には大変お世話になりました。2年間本当にありがとうございました。



この二年間で学んだことと思い出

わたなべ あきら
渡邊 晟 (総合農産科 花きコース)



私は幼いころから、自然と触れ合いながら過ごしてきました。家では花を育てたりして、生活のそばにはいつも花がありました。高校を卒業後は、そんな花のことを学ぼうと思い、大分県立農業大学校に行くことを決断しました。

農業大学校では、花きコースを選択し、少量培地栽培や、鉢物、切り花生産を中心に、切り花の染色、フラワーアレンジメントなど多くのことを学ぶことができました。さらに、フラワー装飾技能士2級、大型特殊免許、農業技術検定などの様々な資格を取得することができました。

プロジェクト研究では、切り花の少量培地栽培の品目拡大と、作業の負担軽減を目的とした培地の再利用に取り組みました。新たな品目拡大の確立には至らなかったものの、培地の再利用は成功し、これからの少量培地栽培に役立つ結果を残せてよかったです。

また、めじろんカップのフラワーアレンジメントコンテストで、大分県知事賞をとることができたことや、フラワーフェスティバルの花いけバトルで一位をとることができたことはとてもうれしい思い出です。

卒業後は大分県農協に就職し、この二年で学んだことを生かして、地元の生産者の方々の力になれるように頑張っていこうと思います。

ゼロからの成長

やまだ こはる
山田 小春 (総合畜産科)

私は高校の時に畜産に興味を持ち畜産の知識がゼロの状態です。大学に入りました。

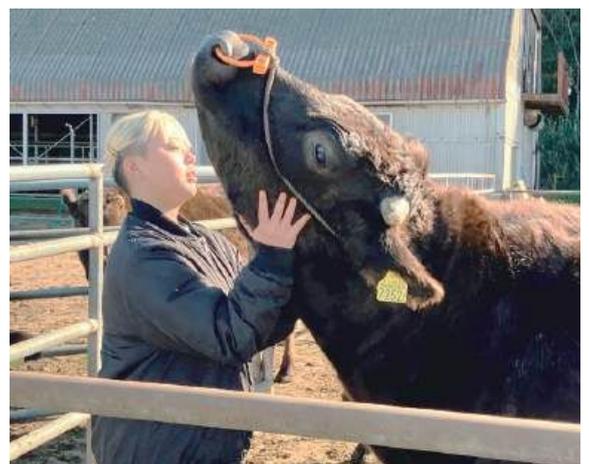
私の周りには実家が畜産をしている人や高校の時に畜産をしていた人など知識が豊富な人が沢山いて置いていかれないか心配でした。

ですが、農大で勉強していくにつれて知識が身につく、作業の時にもその知識を活かすことが出来ました。

その中でも一番身についたのは子牛管理です。プロジェクトを通して子牛の飼養管理の大切さ、環境管理の大切さなどを知りました。

また、普段の飼養管理でも子牛だけでなく親牛や肥育牛の飼養管理・環境管理の大切さを知りました。

将来は研修でお世話になった牧場に就職します。就職先では搾乳や哺乳、機械など様々な作業をすることになるので農大で身につけた技術を活かして頑張りたいです。



Let's experience!

学生会長 おおくぼ 大窪 りくと 陸斗

学生会会員である皆さんと先生方のお力添えいただいたおかげで、令和7年度学生会長の役を終えることができました。協力していただいた皆様に感謝申し上げます。

本年度も、予定されていた行事をすべて無事に実行することができました。4月には新入生を迎えての歓迎行事を開催。5月、9月に参加した九州各県の農業大学校とのスポーツ交流会では、成績に関係なく大分県チーム一丸となり団結し、改めて仲を深めることができ、各県との交流により有意義な時間を過ごせたと思います。6月にはリーダー研修会が佐賀県で開催され、私たち学生三役が大分県の代表として、他県の学生たちと互いに意見を交わしながら様々な考えを共有することができました。

11月の農大祭では、農大の一番大きなイベントということもあり、成功に導くため学生や先生方全員で知恵を出し合い準備を進めました。学生だけが楽しむのではなく、一般の方々も楽しんでもらうために、一般参加可能な腕相撲やカラオケなどを企画しました。

その結果、たくさんの方々の協力を得て、多くの人たちに来場していただき、地域の活性化に貢献できたのではないかと自負しています。

本年度も、限られた予算の中で最大限の活躍が出来て、参加してくれた学生の皆さんに喜んでいただけたのであれば嬉しい限りです。来年度は新しい学生会長率いる学生会役員委員のリーダーシップのもと、新しい行事や地域との交流を増やして大分県の農業大学校をもっと活気のある学校にしてもらいたいと期待しています。

最後に、私はこの農業大学校ではたくさんの方々の新しい経験をさせていただくことができ、その中でも一番皆さんに伝えたいことがあります。それはみんなと協力する楽



しさと大事さです。みんなと協力することにより一人ではできなかったこともみんなと助け合えばできるようになり、達成感もみんなと分かち合えます。この経験は私自身の人生の基盤となりこれからの人生に大いに役立つことになると思います。

農業大学校に入り楽しいことや辛いことなど、たくさんの方々の経験をしてみてください。

いろいろな経験することにより卒業する頃にはきっと自分たちの人生の基盤ができて上がっていると思います。後につづく在校生や新入生の皆さんには失敗を恐れず新しい経験をどんどんしてもらいたいです。

私たち卒業生は、大分県の農業を担う人材として、本校の更なる発展を願うとともに、農業のすばらしさをより多くの方々に発信できるように努めてまいりたいと思います。

この学校で出会った皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

農業法人との連携会

大分県農業法人協会と大分県は、令和3年度に「農業の担い手育成に関するパートナーシップ協定」を締結しています。その一環として、令和7年6月に農業大学校の学生を対象に連携会を開催しました。

農大の学生、県内高等学校および振興局の担当者に、大分県農業をリードする農業法人の業務や取り組み内容を紹介し、理解を深めました。座学後は食堂で食事を囲みながら、法人経営の極意や就農に向けてのアドバイスをいただき、良い刺激になりました。



先進農家等体験学習

次代の農業、農村を担う優れた人材の育成をはかるため、実際の農業とは、また地域農業とはどういうものかを肌で感じる事が重要です。農業大学校の1年生を対象に、令和7年10月に3週間、県内の先進農家（農業法人）で農業経営に実際に携わる貴重な体験を学習しました。この経験は、プロジェクト研究等学習活動や社会人になるための成長の糧となりました。



令和7年度 農大生の活躍

学生フラワーデザインコンテスト 「第17回めじろんカップ(大学生の部)」で 4名入賞!

日本フラワーデザイナー協会主催「第17回めじろんカップ」が令和7年11月9日開催され、本校から総合農産科花きコースの4名が出展しました。



今年のテーマは「押しflowers」。それぞれの押しをイメージして、使用する生花から構成までを考え、制作に取り組みました。

ナデシコやベルテッセン等を使って表現した花きコース2年の宮城侑来さんが、全体の1位となる大分県知事賞を受賞しました。

技能五輪全国大会大分県代表として出場

青年技能者の育成を図り技能レベルの日本一を競う「第63回技能五輪全国大会」が令和7年10月17～20日に愛知県で開催され、総合農産科花きコース2年の宮城侑来さんが「フラワー装飾職種」に大分県代表として出場しました。



競技は決められた花材・資材を使い、花束・フラワーアクセサリ・アレンジメント・ブライダルブーケを制作します。創造性・感性・技術を駆使し、素晴らしい作品ができあがりました。



ヤンマー学生懸賞作文で銅賞受賞!「サフランライス農家」の夢へ、新たな一歩



ヤンマーアグリ株式会社主催「第36回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集」作文の部において、水田・野菜コース 水田・露地野菜クラス1年の島田麻衣花さんが、見事銅賞を受賞しました。

受賞作「大分でサフランライス農家になる」には、島田さんの農業への熱い想いと、未来への明確なビジョンが込められています。

様々な出会いを通じて、大分が誇る世界一の品質のサフランに魅了されました。そして伝統技術を守りたいという強い思いを抱き、有機栽培によるブランディングや水稲との両立で、日本の食を支える水田を維持する「サフランライス農家」を目指す決意を表明しています。

今回の受賞は、島田さんの夢をより明確にし、その実現に向けた確かなスタートラインとなりました。

～様々な企業・学校との連携～

「くだものかふえ」で農大産フルーツをPR

果樹コースは、(株)くだものかふえ及び(株)ファンブリッジと協同し、実習圃場で栽培された「豊里」、「大分果研4号」のジュース及び青果を大分市内の実店舗で販売しました。

販売する時期や量及び販売する店舗、そして取引価格の設定など学生たちに決定権を任せられました。リモート会議の場でそれぞれの現場の専門家の方々からアドバイスをいただきつつ、学生たちは試行錯誤を繰り返しながらも新鮮な体験をしました。

普段苦労して栽培している農産物をPRし、その付加価値をいかに高めていくことの大切さを知ると同時に、農業という産業のすそ野の広さや農大での学びが社会と繋がっていることを実感する貴重な体験となりました。



大塚製薬株式会社、株式会社トキハイндストリー

3年目を迎えた、大分農大名物の「クロダマル」のえだまめ収穫体験。食育活動の一環で大塚製薬(株)、株式会社トキハイндストリーのご協力で、今年度も多くの消費者の方に参加いただきました!

学生扮する「えだまめマン」も登場。3年連続参加の子どもたちは、慣れた手つきで収穫していきました。

収穫体験を通じて、これからも、食べ物=愛。農業の大切さ、楽しさを伝え、消費者との繋がりを深めていきます。

2年間の集大成 ～プロジェクト・意見発表会～



大分県立農業大学校
プロジェクト・意見発表会で発表した
←学生たち

令和7年12月12日にエイトピアおおので、プロジェクト・意見発表会を開催しました。プロジェクトの部では2年間の集大成として各学科・コースから選抜された2年生7名により7課題、意見発表の部では農業に対する想いやこれからの進路について1年生5名により5課題が発表されました。

審査の結果、プロジェクトの部では総合農産科の河野平馳さんと後藤蒼来さんが、意見発表の部では総合農産科の島田麻衣花さんが本校代表に選出されました。3人は令和8年1月8～9日に鹿児島市で開催された九州地区大会で発表しました。

九州地区農業大学校プロジェクト・意見発表会



九州地区大会で発表した
総合農産科 水田・露地野菜クラス
←河野平馳



九州地区大会で
発表及び見学した学生たち

海外農業体験研修 ～ニュージーランド～



先駆的な海外農業について学び、国際感覚を涵養し先進技術や世界情勢などに関する見聞を広めるため、令和7年5月25日～5月31日にかけて、ニュージーランドへの海外農業体験研修に2年生14名が参加しました。

現地ではファームステイ先での実習に加えクライストチャーチの卸市場への訪問、牧場見学、ワーキングホリデー制度で滞在中の日本人との交流など、視野を広げることができました。学生からは「またニュージーランドに行きたい」、「他の国の農業についても学んでみたい」といった思いを聞きました。

活躍する卒業生・期待される農大生

農業に誇りをもって

令和3年度卒業生

あそう だいすけ
麻生 大介

私は現在、小川香料株式会社に入社してマリンレモンという佐伯市のブランドレモンの栽培に携わっています。社会人になっても勉強の日々ですが、農業を通じて充実した社会人生活を送っています。



私は高校でも農業を学んでいましたが、農業大学校ではより本格的な実習や高度な資格取得が出来ると考えて本校に入学しました。野菜コースに履修し、特にピーマンのハウス栽培に力を入れていました。漠然と農業を仕事にしたいと考えていた私は独立起業ではなく就職活動を選択し、縁あって小川香料と出会いました。初めは「この会社って本当に農業やってるの?」と思っていましたが、インターンに参加した際に広大なレモン圃場を目の当たりにし、きっと農業を通じた社会貢献ができると思い入社を決意しました。

学生時代に力を入れていたピーマンと、現在携わっているマリンレモンとでは野菜と果樹という大きな違いがあり、学生時代に学んだことが全て活かせるわけではないですが、土壌や肥料といった農業の基礎知識や取得した資格は活用できています。これからも本校で学んだことを自分の武器として、誇りをもって農業に携わっていこうと思います。

一歩を踏み出す

平成27年度卒業生

いとう たくま
伊東 拓真

私は高校卒業後、4年制大学の農学部への編入を目標に、実績のあった農業大学校に進学しました。出身は県外で実家は非農家、高校も普通科だったため、入学当初は不安もありましたが、仲間や先生方に恵まれ充実した農大生活を送ることができました。在学中は編入試験やその先の進路を思い描けず悩んだ時期もありましたが、授業で担任の先生が農家さんの支援をする普及指導員として活躍していた時の話を聞き、今まで知らなかった普及指導員という仕事に強く惹かれ、目標になりました。新たな目標ができたことで、勉強にも力が入り、国立大学農学部の編入試験に合格できました。



大学卒業後は、大分県庁に入庁し、振興局で野菜の普及指導員として勤務した他、農林水産研究指導センターでは研究員として害虫対策の研究も行いました。現在は農業・畜産職の普及指導員向けの研修担当をしています。

農業大学校から大学編入や県の農業職といった進路があることを一つの選択肢として知ってもらえれば幸いです。

これからも農大の卒業生の一人として大分県の農業に貢献していきたいと思っています。

農産物直売所 「みどりの風」



出張販売 in 豊後大野市役所



OAB マルシェ農大夏野菜・果実セット

今年度も6月～翌年1月(10月と11月は休み)まで農大直売所「みどりの風」を開設し、学生がプロジェクト学習や農場実習の中で生産した新鮮な農産物を県民の皆さんへ対面販売を行う実習を行いました。

また、県農林水産祭をはじめ、大分市、豊後大野市などで行われた各種イベントにおいても出張販売を行い、本校の活動を広くPRすることができました。

こうした取り組みは、自ら生産した農産物を消費者に直接届けられることができる大切な機会です。お客様への商品説明等を通じて消費者の生の声を聴き、品質や価格、商品パッケージなどの消費者ニーズを把握することで、マーケティング能力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、品質の改善や生産の効率化など、マーケット起点のものづくりを実践する場にもなっています。

農業はひとりではできない

校長 藤田 義明

令和7年度、大分県立農業大学校を卒業される皆さん、心からお祝い申し上げます。皆さんは、ここ大分農大を巣立ち、社会に大きく羽ばたいていくこととなります。

「農業はひとりではできない」。これは、多くの卒業生が農大で学んだこととして残していった言葉です。まさに、本校の校訓である「進取研鑽」「実践創造」「友愛協調」のもと、実践的な学びを通して得られた気づきであると思います。

気づきは感動を伴います。そして、感じることで人は動きます。さらに、その感動を他者と共有すること、すなわち共感によって大きなムーブメントとなります。

ぜひ、皆さんには小さなことでもその時々自分の気持ちや気づきを大切にしてもらい、同じ思いを持った仲間とともに、自分のありたい姿を目指し、挑戦し続けてもらいたいと思います。

母校である大分農大は皆さんのことをこれからも応援していきます。



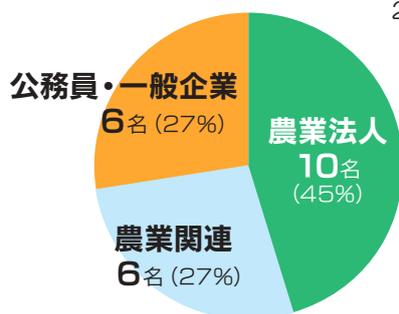
自らの選択

農学部第34期卒業生の進路状況は下のグラフのとおりです。卒業後、即自営を行う者、農業法人や農業関係団体に就職する者の割合が約72%となっています。

また、各種資格取得や免許に関する学習を全学生対象に実施していますが、多くの学生が資格や免許を取得しています。取得状況は右表のとおりです。

令和7年度 卒業生22名の進路状況

2月2日現在



卒業生の進む道

(令和8年2月25日現在)

卒業生の資格・免許取得状況(1・2年次通算)	取得者数
大型特殊免許(農耕車限定)	21
けん引免許(農耕車限定)	18
小型車両系建設機械運転特別教育	3
車両系建設機械(整地等)運転技能講習	10
フォークリフト運転技能講習	11
ボイラー取扱技能講習	16
ガス溶接技能講習	13
アーク溶接作業特別教育	10
日本農業技術検定2級	3
日本農業技術検定3級	4
家畜商講習修了証	1
家畜人工授精師免許	1
フラワー装飾技能検定2級	2
フラワー装飾技能検定3級	2
農薬指導士認定	1

※入学時の資格取得済者を除く

卒業後の進路 (直近3年間、順不同)

農業法人等

農業法人等：自営就農・輪中の郷池永農園・有限会社和田三三商店・株式会社おおいし牧場・有限会社ミキファーム・株式会社植原葡萄研究所・農業生産法人シントクアユミルク・株式会社想季・農事組合法人中園営農組合・有限会社福田農園・株式会社創・株式会社らいむ工房・名水美人ファクトリー株式会社・大分佐伯ファーム株式会社・株式会社スギモトファーム・農事組合法人カヤノ農産・株式会社おおよま夢工房・株式会社リアライズ・株式会社エーワン・株式会社アグリハート・有限会社豊後大分有機茶生産組合・FROGSFARM 株式会社・株式会社未来農林・株式会社ドリームファーマーズ・株式会社大分サンヨーフーズ・株式会社黒木ファーム・株式会社MRC(農事組合法人水江ライスセンター)・株式会社まるみつファーム・草屋本舗株式会社・株式会社ENOWAファーム・グリーンストック

農業団体等

大分県農業協同組合・株式会社大分県畜産公社・公益社団法人農業公社やまくに・べっぴ日出農業協同組合・公益社団法人杵築市活性化センター・大山町農業協同組合・大野郡森林組合

農業関連企業

ゆくはし植物園・株式会社中九州クボタ・ヤンマーアグリジャパン株式会社・株式会社中セキ九州・大三ミート産業株式会社・丸果大分大同青果株式会社・株式会社グリーンコープミルク

進学

東海大学・愛媛大学・大分高等技術専門学校・タキイ研究農場専門学校

公務員

大分県職員(初級、農業)・大分県技能職員

一般企業等

宮崎交通・株式会社野田麗華園・株式会社ヤマナミ麺芸社・株式会社コスモス薬品・ワタナベグループ株式会社



就職相談会
(会社概要説明)

「農大NOW」は平成6年3月に第1号が発行され、今回の令和7年度版は第33号となります。「NOW」の意味は、N:のびる、O:おもしろい、W:わかりやすい農業教育を実践する本校の今(NOW)を継承していく意味が込められています。

本稿を通じて学生の成長を実感していただければ幸いです。卒業生の皆さんが様々な分野で活躍されることを期待しています。